

<b>団体名</b> <b>南城市立玉城幼稚園</b>	<b>TEL : 098-948-7511</b> <b>Eメール : shiroma00375@city.nanjo.okinawa.jp</b>
--------------------------------	---

## 1 実践事項 「特色ある取組」について

### 「地域(玉城)の自然・伝統・文化を取り入れた保育活動と発信の工夫」

## 2 実践内容・説明資料

### (1) 稲作や染め物(月桃・クチナシ)体験

- ・稲作発祥の地として、田植えから収穫、脱穀までを経験し地域の文化を知る機会とする。
- ・身近にある自然物を取り入れて染物体験をすることで、身近な自然に興味関心を持つ。

稲刈り体験



脱穀機で  
脱穀体験

### (2) 地域人材を活用した保育活動

- ・地域の伝統行事(奥武島ハーリー)の由来等について伝える。
- ・糸数(アブチガマ)ゆうなの会による、平和についての紙芝居の実施。
- ・クリスマスや新年の集いに地域の人材(演奏家)の演奏を生で聴くことにより、楽器に関心を持ったり表現力・想像力の育成に繋げる。

草木染め体験



ハーリーの  
様子を実践



平和につい  
ての紙芝居



### (3) 保育のドキュメンテーション作成(保育活動の発信)

- ・各担任が園生活の様子を子供向けと保護者向けに写真やエピソードを添えて作成した。保護者へ幼児教育への理解に繋げている。

親子や友達と一緒に遊びを振り返る



## 3 成果

- (1) 稲作体験では、土作りから稲の生長を楽しみ、昔ながらの脱穀機で脱穀を体験する事ができた。脱穀した後、唐箕(とうみ)で、もみ殻を飛ばす工程も見ることができ子供達の関心を持った眼差しが見られた。その体験を通して、自分達が毎日口にするお米がどのように出来ているのかを知り、更に収穫した稲穂からとれるお米の量を知ることでご飯を一粒残さず頂こうとする子の姿も見られた。  
園庭にあるサンニンの根っこやクチナシの実で染物体験をすることで身近な自然物に関心を広げる事ができた。また、染物の楽しさを味わうこともでき、今後の保育活動の広がり期待を寄せている。
- (2) 地域の伝統や文化、歴史を幼児向けに分かりやすく伝えてもらった結果、幼児なりに地域の良さを知るきっかけとなり、玉城地域の良さを感じ取りながら自然や伝統、文化を守っていくことの大切さを学ぶことができた。
- (3) 教師自身が幼児の育ちを確認し、つながりのある保育が展開できた。又幼児にとっては遊びの振り返りになったり、「こんな遊びがあるんだね。」と友達遊びに刺激をもらったりして遊びの発展につながった。更に、保護者にとっては園での活動の様子を知ることができ幼児教育の理解に繋がっている。

## 4 課題

ドキュメンテーションの写真がモノクロで配付しているため様子が良く分からないことがあるという保護者からの声があった。今後は、南城市教育委員会のホームページにある幼稚園のホームページを活用し、「園長だよりや各担任が発信する保育の様子を掲載、ペーパーレス化につながることはもちろん、写真添付もカラーで様子が伝わりやすくなる。」また、「保護者がいつでも拝読できる」と考えており、システムの導入と活用ができるようにしていきたい。